



共謀罪法案が強行採決された6月15日、「未来公共」の国会前での抗議行動

市民と立憲野党の共同で

安倍改憲を許さない



廣渡さん

加憲で自衛隊は軍隊に

廣渡清吾東京大学名誉教授

8月20日、明治大学中野キャンパスで東京土建は「安倍政権が狙う憲法改憲を阻止し、夢と希望のある日本を取り戻す全都学習・交流集会」を298人の参加で行な

いました。「日本国憲法と安倍政治」と題した市民連合・学者の会の廣渡清吾東京大学名誉教授の講演の中心部分を紹介しします。(文責・編集部)

5月3日の読売新聞インタビューで安倍首相が行なったのは憲法9条1項、2項はそのままで、3項を付け加えるあるいは9条の2に付け加える。9条の解釈は変えない、今までどおりです。ちょっと付け加えますという新しい提案です。2012年の自民党の改憲案では2項は変えま

す。日本には自衛隊がある。それを行使するために国防軍を設置する。自衛隊を変え、文字通りの軍隊にする。戦力不保持、軍隊を持たないという規定を削除して、正面から軍隊を含めるというのが自民党の改憲案です。これでは国民に提示しても認めてくれない。そこで新提案にしました。

新提案はどのようなものか。自民党の憲法改正推進本部の叩き台案では9条の2を置く、現行9条はそのままで、9条2で前条の規定、つまり現行の9条の規定は、我が国

を防衛するための必要最小限の実力組織として自衛隊を設けることを妨げるものと解釈してはならない。これがミソです。いかなる戦力も保持しない、陸海空その他の戦力はこれを保持しない、国の交戦権はこれを認めない、軍隊を持たない、

他国の軍隊と戦う権利は日本にはないのだと9条2項に書いてある。これをそのままにして、9条の2で、今ある自衛隊は9条2項で

を保持を禁止された戦力ではないというふうになるので、そうすればどうなるのか。



講演に聞き入る参加者

9条守れ勢力を分断 戦争法反対運動からの教訓

加憲案はなぜ出てきたのか。自衛隊は違憲だという署名を集め始めた。憲法改正の発議された時に、どのようなムードを作っておく必要があるのかを見越した憲法改正右派の新たな戦術です。安倍氏もそのことを考えたのです。

安倍閣連法案(戦争法)反対運動は、60年安保改定阻止の国民運動以来の政府に反対する大きな運動になりました。安倍政権にも大きな脅威だった。安倍閣連法案強行の直後の世論調査では、内閣支持率は30%に下がった。今回の共謀罪、加計、森友問題の時と同じくらいです。そこで安倍氏が考えたのは自民党改憲案のとおり自衛隊を国防軍にするというのでは、安倍閣

連法案の時に立ち上がった人たちが再び立ち上がる可能性があります。これは避けなければならぬ。しかし安保閣連法案の反対運動をよく見ると、自衛隊は違憲だと言う人もいるが、自衛隊合憲だ、これ以上自衛隊を海外に出したりすることや集団的自衛権行使には反対だと言う人も含まれていたというわけです。そこで今度は、安倍閣連法案には反対したが、自衛隊は日本になくてはならないものだと思っっているし、よくやっていると思っっている国民を憲法改正に引き付けようというのが今回の加憲案です。

今回の安倍加憲案の意味は自衛隊が憲法上の存在になり、自民党の改憲案が狙う軍隊の創設への最終的な一歩になることだと思います。

保持が禁止されている戦力であるものと矛盾しないものであると書いてある、そうすると今ある自衛隊は9条2項で

憲だと言っているわけでもないということ。だから今、日本会議は自衛隊ありがとうという署名を集め始めました。憲法改正の発議された時に、どのようなムードを作っておく必要があるのかを見越した憲法改正右派の新たな戦術です。安倍氏もそのことを考えたのです。

安倍閣連法案(戦争法)反対運動は、60年安保改定阻止の国民運動以来の政府に反対する大きな運動になりました。安倍政権にも大きな脅威だった。安倍閣連法案強行の直後の世論調査では、内閣支持率は30%に下がった。今回の共謀罪、加計、森友問題の時と同じくらいです。そこで安倍氏が考えたのは自民党改憲案のとおり自衛隊を国防軍にするというのでは、安倍閣

あるわけです。集団的自衛権も行使できるようになった、自衛隊の装備は本場に自国を守るための装備なのか、

従来は9条2項との関連で違憲だという議論が成り立っていたわけですが、成り立たなくなるのです。

このか非常に巧妙な改憲案です。国民を言いくるめる、皆さん何の心配もありません。今まで通りです」というのが言いくるめです。

でもそんなことはない。決定的に変わる。もし自衛隊という特定の国家機関が憲法に規定されたら、国民が感謝すべき危険な業務に従事している海上保安庁や消防署の人たちと完全に差がつかます。自衛隊は憲法機関です。誰にも文句を言わせない憲法上の存在になってしまふ。ですから、これをアコに国防軍にはあと一歩ということなと思

います。

政治は日常とつながる

未来公共の中山さん、谷さん

安保閣連法案阻止のたたかいの中で、若い世代で組織されたシルズの活躍が鮮烈な印象を残しました。シルズは解散しましたが、安倍政権の暴走に対して若者は引き続きNOの声をあげ続けていま

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「団体の名前のことについて聞かれることが多いです。今の安倍さんのやろうとしていることって押し付けがましいですよ。上から押し付けられた公共でなくて、私たち市民の草の根から公共を立ち上げていきたいと思っこのような名前になっています」と話す中山さん。自民党の改憲草案の家族の在り方に象徴



谷さん(左)と中山さん

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

「未来公共」は今年3月に発足した市民団体。民主主義を発展させるプラットフォーム(基盤)を作るのをめざしています。南スーダンへの自衛隊派遣問題、森友、加計問題、共謀罪などその時の情勢に応じて様々な問題をイシュー(争点)としてきました。

さんは安保法制の成立過程などを見ていておかしいと感じていたのですが、家族の反応を気にして抗議行動には参加しませんでした。しかし自らの投票行動への干渉に耐えられず、昨年参院選から野党共闘を応援する運動に加わるようになりました。「こういう活動をしていると、大学の友だちに『危ない活動している奴がいるぞ』と言いつらされたり、小ばかにされて辛くな

ることもありますが、辛いなと思うナイーブさは忘れたい」と中山さん。また、いわゆるノンポリ家庭で育った谷さんは高校時代に歴史などを学ぶ中から、政治に関心を持つようになりました。「未来公共」には中山さんと違い創設後に参加しました。「フランスの高校生デモを見ていたら『学生食堂のフライドポテトを増やせ』と要求していました。政治は身近な日常と関わっていて誰でも声をあげられるべきものじゃないかと思うんです」。

今後の取り組みは、改憲反対の全国の様々な団体と協力して運動すること、野党共闘の選挙協力を後押しすること。「大事なことは、親しい人と改憲の危うさを話し合ってみることです。政治は日常と関わっているものだから、対話の余地、糸口は必ずあるはずですよ」と2人からの参加者へのメッセージです。

詰将棋の解答

2二歩成△同玉 2三飛成
△3一玉 3二歩△4一玉
4二歩△同金 2一竜まで9手詰。